

「生体認証導入・運用のためのガイドライン」の公開について

独立行政法人 情報処理推進機構（略称：IPA、理事長：藤原 武平太）は、生体認証の情報セキュリティ対策を推進するため、生体認証を導入しようとしている担当者及び意思決定者、または既に生体認証を導入済みの担当者を対象とした「生体認証導入・運用のためのガイドライン」を2007年7月18日（水）より、IPAのウェブサイトで公開しました。

（URL：http://www.ipa.go.jp/security/fy18/reports/bio_sec/index.html）

「生体認証導入・運用のためのガイドライン」は、近年急速に普及している生体の特徴（指紋、静脈、虹彩等）を利用した生体認証システムのセキュリティに関わる状況について、正しい理解を深め、適切な利用の促進を目的としています。

生体認証は、「完璧に安全である」や「生体情報の偽造が可能であるとともに、流出の危険があり非常に危ない」等の誤解をされていることが少なくありません。生体認証の利用の際には、生体認証の特徴を充分踏まえた上で、目的に合致したシステムを構築・運用することが重要です。生体認証導入・運用のメリットと生体認証のセキュリティ上の課題を認識し、目的に合った認証方式・技術を選択し、運用時においても適切な設定を行う必要があります。

本ガイドラインが、生体認証の導入・構築・運用を検討する際の参考となることを期待しています。

【目次】

1. 生体認証(バイオメトリクス)の概要
 - 1.1. 生体認証(バイオメトリクス)とは
 - 1.2. 生体認証の導入のメリット
 - 1.3. 生体認証による認証技術の概要
2. 生体認証システム構築と運用の留意点
 - 2.1. 構築フェーズに係わる事項
 - 2.2. 運用フェーズに係わる事項
3. 付録
 - 3.1. 生体認証による認証技術の種類



本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター 小林／中野

Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp

報道関係からのお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 戦略企画部広報グループ 横山／佐々木

Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp